

# 平成28年度 第3回 理事会

平成28年12月10日 14:00～17:00

11日 9:00～12:00

福井県立科学技術高等学校 桜仙会館

- 1 司会進行 塚崎 邦嗣
- 2 出席者 折井・井上・坂井田・早川・中梶・高畑・大野・平葎・小柳・河田・塚崎  
月成・田中・中野目  
以上14名 理事現在数の3分の2以上の出席により会議成立
- 3 部長挨拶 折井 巧 部長
- 4 議長選出 規約 第26条 3項 より部長が行う
- 5 議事録署名人指名 小柳 勝
- 6 議題
  - (1) 平成28年度全国高校選抜自転車競技大会事前協議及び実施要項について  
(理事長・総務・競技運営)
    - 別紙要項について総務部会長より説明
      - ・大会名の最初に「熊本地震復興支援」を入れる。
      - ・期日を3月25日(土)～29日(水)に変更
        - ※26日(日)ロード競技・27日(月)～29日(水)トラック競技
      - ・他校の職員に引率を委任する場合はそれが確認できる文書を提出する
      - ・監督・引率責任者・チームサポートに対して発行するIDは最大2枚まで
      - ・その他、別紙のとおり字句訂正
    - 競技運営部会長より下記のとおり提案され承認
      - ・トラックレース新競技規則の周知方法および選抜大会への導入について  
<周知方法>
        - 専門部HP・専門委員長会・選抜大会監督会議
        - ケイリンは全国トラック合宿でレース映像を撮影しHPで公開
      - <今年度選抜大会から導入する事項>
        - ①ケイリン
          - ・周回数：400m 走路×4周
          - ・抽選どおり速やかに隊列を作る
          - ・ペーサー離脱位置の「フィニッシュ 800m 前中央線」を大会特別規則で「フィニッシュライン」とする
          - ・ペーサー離脱時追い越し判定：前輪前端
        - ②ポイントレース
          - ・最終スプリント2倍得点
      - <周知のみとし今大会からの実施はしない事項>
        - ①1km TT 2ラウンド制 → 特別規則で従来どおり実施

②TS → 正規交代の判定方法：前輪前端同士へ

- ・平成29年1月26日（木）競技運営部会による会場視察および周長測定を実施
- ・審判長は高畑先生 コミッセールパネル：高畑先生・寺崎先生・馬場先生

理事長より補足

- ・JKA補助金には会議費が認められていない。番組編成会議の費用をどこから捻出するか、今後、実行委員会と検討。

(2) 平成29年度全国高校総合体育大会について(福島県) (担当者・中野目)

○別紙資料により担当者より実施要項の説明

○参加人数配分表の確認

- ・平成28年度2次登録の数字で作成
- ・ロードレースの都道府県枠を廃止する。

(平成29年度からの実施に向けて委員長会議に提案)

○競技運営部会より別紙資料にて説明

- ・制限タイムについて、変更はしない
- ・手動計時による記録の補正について、本年度同様+0.30秒の修正をする。

(3) 平成32年度全国高校総体開催地について (理事長)

○別紙資料により理事長より説明

- ・長野県専門部に打診しているが、判断が保留されている。
- ・今後もこれまでどおり進め、今年度中に会場地決定

(4) 全国高校総体への女子種目（正式競技）の導入について (理事長)

○別紙資料により理事長より説明

- ・9月の全国高体連全国高校総体中央委員会で承認された。
- ・平成30年度からの実施を希望。（会場地の了承が得られた場合）

(5) 平成31・32・33年度全国高校選抜大会開催地について (理事長)

- ・北九州での開催を検討しているが結論が出ていない。年度内に結論を出す。

(6) 平成29年度以降の日韓対抗学生自転車競技大会 (理事長)

○下記の内容の提案が理事長からあり承認

- ・来年度からは「ジュニア6ヶ国対抗自転車競技大会（仮称）」として実施  
(日本・韓国・中国・香港・台湾・オーストラリア)
- ・滞在費・開催国内の交通費は開催国負担
- ・人員：スタッフ3名・選手12名（男子6人・女子6人）
- ・会期：10月下旬から11月上旬（来年は11月10日～14日）
- ・種目：SP・TT・IP・TP・TS・SC
- ・会場：第1回 香港・第2回 韓国・第3回 中国（以降予定 日本 - 台湾 - 豪州）

(7) 各専門部会より (総務・競技運営・強化育成)

【総務部会】

- 昼食弁当を指定業者以外に注文し配達させたチームがあり。実行委員会として注意をしたが、その注意に対し強いクレームがあった。（全国高体連より）

- 総務より選抜大会の参加人数配分の見直しについて提案
  - ・平成 29 年度大会から選抜大会の都道府県別参加人数の「定数 3 人」を「定数 1」に変更。2 月の専門委員長会で提案。
- 自転車競技の安全対策について
  1. HP ページに注意喚起を促すリフレの提示
  2. 事故報告の提出義務化（各県委員長）
  3. 大会開催中の危機管理マニュアルの作成
  4. 自転車競技の指導書の作成について
  - ・上記のうち、現在実施しているのは「2」のみであるが、すべてが報告されているかは不明。事故の有無にかかわらず、大会後に所定の様式で「事故報告」を提出してもらう方向で検討中。
  - ・「危機管理マニュアル」について、各都道府県高体連で作成されているものを都道府県専門部で自転車用に作成。
  - ・「指導書」については、作成したことによるリスクもあり、作成に否定的な意見があった。来年度以降に先送り。
  - ・競技運営部からもレース中の事故防止対策について、各チームからアイデアを
- 平成 29 年度全国総体ブロック別参加人数のロードレース「県枠」の廃止。
- 広報部の設立
  - ・記録、写真等の管理・整理を行う目的で広報部の設立  
(総務部会・競技運営部会との連携して活動)
  - ・平成 29 年度の設立に向けて規約の訂正
  - ・平成 30 年度に創立 60 周年
- 専門部加盟校名簿について、来年度より冊子は作らず、PDF ファイルを HP でアップする。アップする内容に注意する。(女子部員がいる学校の名簿を作る)
- 平成 28 年度全国高体連自転車競技専門部表彰について
  - ・本年度表彰対象者  
第 5 条 1. 二により坂井田理事長、第 5 条 1. 三により井上副部長
  - ・対象選手については強化部会に人選依頼
  - ・今後、3 年連続で総体優勝した選手を表彰対象者としてはどうか。

#### 【競技運営部会】

- ヘルメット使用年数制限について、使用開始から 3 年以内を強く推奨する。
- 技量未熟に起因する落車事故防止の手だてとして
  - ・Youtube 動画を専門部 HP とリンクする。
  - ・各学校から初心者対象の事故防止策の例を紹介してはどうか。
- 競技規則解説の編集方針
  - ・従来の写真中心の規則解説に加えて動画を作成して周知する。
- 全国高校総体・選抜大会の競技種目再検討について
  - ・女子正式種目採用と東京オリンピックに向けて検討を始める
  - ・3 部会合同の競技種目検討委員会を設立する。まずは各部会で検討。

#### 【強化育成部会】

- 別紙資料により「事業報告」「事業計画」の説明  
事業報告

- ・全国ブロック合宿
  - ・ジャパンカップ 2016 ホープフルクリテリウム
  - ・第 22 回日韓学生対抗自転車競技選手権大会
- 事業計画
- ・全国高体連トラック合宿 (12/23～27)
  - ・全国高体連女子トラック合宿 (選抜大会終了後実施予定)

(7) 役員改選について

- 理事長選挙の告知をHPにアップ
  - ・立候補・推薦とも1月20日(金)締め切り
  - ・選挙管理委員長は関東ブロック委員長の川上先生にお願いする

(8) その他

- 2月11日(土) 専門委員長会終了後に懇親会を実施

6 報告事項

(1) 平成28年度全国高校総体(鳥取)の報告 (鳥取県担当者)

- ・河田先生より報告

(2) 平成28年度第1回全国高体連自転車競技専門部韓国済州島ロード合宿の実施について

- ・別紙資料により合宿要項の説明

(4) 全国高体連自転車競技専門部 協賛企業について (理事長)

- ・ヴィットリアジャパンから、今後しばらく大会協賛(全国総体・選抜大会)についてこれまでと同様の対応ができなくなった。(入賞者への副賞、総合優勝校への副賞等)

(5) JCF関係について (理事長)

- ・来年6月JCFの役員改選
- ・JK A補助金申請手続きは今年度もJCF経由でおこなう

(6) 各専門部会より (総務・競技運営・強化育成)

【総務部会】

- 別紙資料により報告
  - ・平成28年度全国高校選抜大会、平成29年度全国高校総体ロードスタート抽選を2月の専門委員長会で行う
  - ・平成28年度加盟登録について、加盟校数・登録選手数の報告
  - ・賛助会費のお願い

【競技運営部会】

- 別紙資料により報告

【強化育成部会】

- 別紙資料により報告

(7) 賛助会員の状況について  
○別紙資料により報告

(事務局)